



ロータリー：  
変化をもたらす

## 宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 栃木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018) 平成30年5月22日 No 40 2017～2018年度 (第3244回会報)

会員数 100名 出席者数 56名 出席率 62.9% 前回修正率 69.4%

MU 会員 印出井敏英会長 (鹿沼ロータリークラブ)

### ビジター紹介 (親睦活動委員会 矢治和之委員長)

佐藤元子様 (ゲストスピーカー) 佐藤友美様 (民話漫談家付き人)

### 幹事報告 (飯村悟幹事)

5月29日(火)第2回パスト会長会議を開催致します。その際に、印出井会長より今年度のご説明と岡崎会長エレクトからの次年度へ向けてのお話等がございます。ご参加をお待ちしております。

### 岡崎善胤会長エレクト報告

ガバナー事務所より、次年度ガバナーからのご連絡がありました。第2回国際ロータリー第2550地区ゴルフ選手権大会のご案内が来ております。伊東永峯ガバナーエレクトからの案内です。ゴルフに腕のある方・ない方もふるって、ご参加を頂きたいと思っております。当大会の役員に、当クラブ森田浩敏先生が競技副委員長を務めて頂いておりますので、是非ご参加をお願いしたいと思っております。

### ニコニコボックス委員会 (金成倫委員長)

結 婚 祝：小林健二会員

快 出 席 祝：矢嶋昭司会員 宮本隆昌会員

奥様誕生祝：小林健二会員 篠崎昌平会員

福村宏之会員：6月28日付で、子会社の関工商事(株)へ移動となります。3年間、本当にお世話になりました。有り難うございます。後任も入会する事になると思っておりますので、宜しく  
お願い致します。

E・I テーブルミーティング残金：

F・G テーブルミーティング残金：美味しいお肉を頂きました。

### プログラム紹介 (プログラム委員会 松本春枝委員長)

本日は民話漫談家「おもしろかたりべ」さとうもと子様をお招きしております。宇都宮ご出身で、平成14年から介護職のかたわら、かたりべ家を始められました。平成17年からCRT栃木放送に登場され、3時間番組のパーソナリティーや地蔵巡りの中継などをご担当されました。以降、NHKや栃木テレビ等で活動や講演そして風景等をご紹介されています。語りの特徴としては、栃木の方言を使い民話に漫談やダジャレを加えて、おもしろ楽しくお話をされます。地域をご自分の足で取材されておりますので、リ

アル感たっぷりの語りです。演題は「栃木おもしろ昔語り」です。宜しくお願い致します。

## 卓話「栃木おもしろ昔語り」

高麗神社スタッフ 那須与一伝承館スタッフ さとう もと子様

はじめまして、私はさとうもと子と申します。宜しくお願い致します。一番高い所は偉そうなんで、一段下に下ろさせて頂いて、前のほうさ来させて頂きます。まずは、私の美しい顔でも見てもらあかな？はい、こんな顔です。今日は宇都宮ロータリークラブに呼ばれて来ましたが、私の事を知っている人は少な～かな！ひょっとすると、知らねえ人がほとんどだね～。私の方は私の方で、皆さんの事を全く知りませんから、どんな人がいつか、わかんねえ～。ほんだけっども、私が呼ばれていぐ所は、お寺の「おせがき」会とか、自治会とか敬老会とか、そういうところが多いんですよ！したければ、みんな普段着で来てんのね。農作業した服で「このまま、来ましたよ」と、いう人が多いです。ところが今日はみんな「スーツ」を着てっから、こっちも緊張するね～。さて、西城秀樹さんが、亡くなりましたよね。たまげましたね。同年代の方は、います？本当にビックリしましたけども。今日この場に呼ばれたきっかけは、印出井会長より声を掛けてもらったんで大田原から来ました。…で、印出井会長は、私のかたりべを聞いたこと無いんですよ。という事で、私がしゃべっているのを聞いている内に「ありゃ、失敗しちゃったな。今日、こんなの呼んじゃって」と内心思ったとしても、これはアフターカーニバルでございます。後の祭りです。その場合には、印出井会長には責任はございません。私が全責任を取りますので、ご安心下さい。日大の監督みたいに「私は、知りません」なんて事は、私はいいません。別に責任を取ったところで、二度とここに呼ばれないという事で、大した損害は有りません。



皆さん民話の語りを聞いたことありますか？私の場合は、民話漫談家と自分で勝手に言葉を作りました。面白く民話を語って、皆さんに知ってもらいましょうと云うスタイルでやらせて頂いております。「ごじゃっぺ」ばかり言っただけは駄目なので、現地調査もしています。その場所、その場所に出向いて、その場所の民俗など色々研究しながらやらせて頂いております。何か民俗的な事で分からないことがありましたら、いつでも私に聞いて下さい。私がかんない時には、民俗の先生に聞いてから皆さんにお返ししますので、安心して下さい。まづ、こんな話聞いたことがありますか？鶴と亀の話。昔、有ったんだね～。鶴が亀の嫁様になりたくってよ。「なんで、あんた私の事いやなの？首が長いから、いやなの？」「そうじゃ無いんだ」「ほんじゃ、足が長すぎるから、いやなの？」「そうじゃ無いんだよ。鶴は千年、亀は万年というべ。あんたが死んだその後で9000年もの間、おらチョンガーでいんのが、やなんだ」そう言ったと。おしまい。これは、茂木の方に残っていた民話です。亀が出てくる話は、他にもいっぱい有りますよ。昔、ある村で、祭りが有ったんだとさ。父ちゃんとせがれで祭りの中を歩いて行くと、そこで亀を売っていたと。そこでせがれが「とうちゃん、亀買ってこれ」こう言うと、「駄目だ。亀なんか買っても、直ぐに死なれちゃう。だから、金の無駄だから買えねえ」こう言うと、店のおやじが「そんな事ねえ。亀ちゅうのは、万年生きるんだから。金の無駄なんて事はねえ。だから、買ってやれ！」「しゃね」と言いながら、買ってやったんだ。「ちゃんと、面倒みんだぞ。」せがれが大喜びで家に帰ったその晩、頭の枕元に亀をおいて寝たと。朝、目をさますと、亀は死んでたと。「父ちゃん、亀が死んじゃった」というと、「あのおやじが、亀は万年生きるって言ったのに。俺は文句を言ってくる」と。おやじに言うと、おやじは「ほうか。じゃ今日が丁度万年目だったんだな！」おしまい。亀にまつわる話は、いっぱい有ります。昔、働くのが嫌いで酒を飲むのが大好きな男がいた。ところが、嫁さんをもらうことが出来たんだと。嫁様をもらっても、働くことはしない。

酒ばかり、かっくらったんだってね。その嫁様が「あんた、ちょっとは働いてくれよ。金がなくて、麦飯しか買えないんだよ」と麦飯をだすと「麦飯なんか食えるか」と。嫁様は荷物をまとめて家を出て行っちゃったと。この後、この嫁様は材木屋に見せられ、嫁にもらわれたんだ。ある日、「ざる」売りが来た。よく見ると、元の亭主だったと。「ざる屋さん、ざるは売れるの?」「それが、売れねえんだよ」「腹は、減ってないけ?」「腹?減ってる」と言ったんだと。酒は飲まねで、麦飯をばくばく食ったんだと。人は変われば変わるもんだと、この様子を見ていた女は感極まり涙が出たと。女に「私の事、何かおもわねえけ?」とざる売りは聞かれて、嫁だったと気づくと逃げ出したんだと。逃げていく内に、ざるの中に体がおちちめられて亀になっちゃったと。亀というのは働くのがいやで、酒ばかりかっくらった男のなれのはてなんだって。ほんで、福島に行ったけれ、亀が言葉を話す話もあるんだよ。昔は亀も言葉を話せたつうわけ。池んぼに行って「良い風が吹いているな!」と。池んぼの中の鯉に「おめえも表に出てくれば、涼しい風に当たられる」という。歩いている猫に「池の中の水に入って水遊びが出来ねかんべ。」とばかにする。だが、この亀もたった1つだけ出来ね事がある事に気づく。「空さ、上がる事が出来ね。何とか出来ねえか」と言った独り言を聞いたのは、鳥だった。この鳥がどこからか棒を拾ってきて「おめえ、これに噛み付いてみろ。それを俺が足でつかみ、空さ上げてやるから。そうすれば空から地上をみっことが出来るぞ」と。「だけど、空に上がったら一言でも言葉を言ったら、空から落ちっからな」「分った。絶対言葉は言わないから、上げてくれ」と。高いところまで上がった鳥は亀に「どうだい。良い景色が見えっぺ?」と。ところが亀の目玉は上にあり、空しか見えね。なんだか、失敗したと亀が思った。遠くの方から子供らが空を見上げ、鳥が何かをつかんで飛んでいんのが見えた。子供達は、ぞうきんでもぶら下がってんちゃ?あれはタワシだ?等、勝手な事を言っている。それを聞いた亀が我慢できなくなって「ふざけんな。俺は天下の亀様だ」という気になって口を開けたので、空から落っこちちゃった。丁度そこにでかい石があったと。甲羅がぶつつかりひびが入ったと。今でも亀の甲羅にはひびが入ったままだと。ほんで亀は二度と言葉を話さなくなっただと。おしまい。

私は今、大田原に住んでんだよね。車で2分のところに羽田沼があんです。ここには毎年白鳥が来んだけと。この羽田沼には、白鳥だけでなくカモもいんだよ。カモの方が、数は多いんだよね。こないだカモが飛び始めると、つられて白鳥がぐ〜と私の方にとんできたんでよっく見たら…サギだった。

こんな話。昔、じいさまが畑仕事に行こうとしたとき、白鳥が畏にかかっていたんだと。かわいそうと助けた話は、良くあるよね。夜になると外から戸をたたく。戸を開けると、そこには綺麗な若い娘が立っている。「1晩泊めて下さい」というので「じゃ、ご飯もどうぞ」と家に入れる。じいさまは「昼、助けた鶴だろう」と、ばあさまと話していた。ところが、次の日も次の日もはたおりの部屋を貸せと言わない娘に聞いてみた。「そろそろ、はたおりした方が良いんじゃないかねえか?」と。娘は「はたおりって、何?はた折った事無いわ!」と。じいさまは「あの日の鶴ではないの?」娘は言った。「鶴?私は鶴なんとではないわ。私じゃ、サギだ」と言ったんだと。おしまい。

次は、宇都宮の話です。延命院さんというお寺があります。延命院さんには、なかなかのものがありません。金魚の形の椿です。これは江戸時代の話なんだけと。宇都宮が大火に見まわれたんだわ。あっちもこっちも皆焼けた。その時に延命院の方まで火がまわり本堂が焼けっちゃって、地蔵堂も駄目かと思ったとき、地蔵堂の屋根に延命地蔵が「小っちゃい小僧」となって登り、降りかかる火の粉を振り払い火の回りを防いだと言われんだよねえ。檀家の人達が地蔵堂の中を見たら、地蔵さんは無事で、地蔵さんの顔を見たら、屋根の上に乗って火の粉を払っていたおこぞうさんにそっくりと言うわけで、何時も信心して地蔵さんの顔を見ていれば気がつくはず。後になって気がつくのは、ようくは見えていなかったかという事しょうか。どうなんだか。この地蔵さんが守ってくれたという事で有り難いと、今でも3月と10月に縁日が有り、この時にお札をもらい家に置くと火事になんないと言われていんね。この延命院のお墓の中には、初音観音様がいます。この観音さんになった人は、おおうちとめさん、実在の人です。この観

音様は、櫛を持っていて、櫛を置いて願を掛けると願い事が叶うと言われていました。

昔ある村で長者様のせがれが、嫁様をもらったんだな。隣村から来た嫁様は、大変緊張していた。ちょっと緊張が緩んだら、おならが出ちゃった。それを聞いた親戚の者が「おらが親戚の嫁さんは、大したもんだ。嫁さんだけではなく、へも一緒にもらったぞ」と言ったもので、皆一斉に笑ったんだ。そしたら嫁様は恥ずかしくて居られなくなり、村の外れの沼に飛び込んで死んだ。そしたら婿さんが「今日もらった嫁様に死なれたら、おら生きていくかいが無い」と沼へ飛びこんだ。そしたら婿さんの親が「おらの大事な息子がいなくなった、もう駄目だ」と沼に飛びこんだ。親戚のものが「俺が、よけいな事を言った」と沼にドボン、ドボンと。他の人も「おらの村の長者様一族皆いなくなった。おらが村は、たちゆかね」と皆、沼にドボンドボンドボンと。村が全滅しちゃった。おしまい。

昔、じいさまとばあさまが居たとき。じいさまは、山へしば刈りに。ばあさまは、川へ洗濯に。ばあさまが洗濯をしていると、上からサツマイモが流れてきた。いえさ帰って、茹ではじめた。だんだん黄色になり、うめえうめえと全部食べた。じいさまに食べさせないで、自分一人で食ってしまった。証拠隠滅しなくては、大きな鍋を持って洗いにいった。食ったものが芋だったから、歩くとぷーぷーとへが出た。恥ずかしくてゆっくり歩くと、ぷ〜ぷ〜と出るんだな。走ると、ぷ・ぷと出るんだな。いやだとうらを見つと、黄色い雲みたいなものが窓からす〜と外さ出ていった。山でしばを刈っていたじいさまが家の方をなにげに見たら、黄色っぽい雲みたいなものがす〜とこっちに来んだな。近づいてきたらじいさま、しばを刈らずに、くさかった。おしまい。

色々語らせて頂きました。有り難うございました。

---

＝今日の食事＝



チキン南蛮 玉子スープ  
小鉢 ご飯 香の物

＝卓話予定＝

【5月】

- 5月 22日 さとう もと子様 高麗神社スタッフ・那須与一伝承館スタッフ  
5月 29日 会員卓話 秋本薫会員 (株)アキモ 代表取締役社長  
「(株)アキモの地域貢献活動」

【6月】

- 6月 5日 仲村久代様 認定特定非営利活動法人サバイバルネット・ライフ  
～子供の貧困とDV～  
6月 12日 1年を振り返って  
6月 19日 1年を振り返って  
6月 26日 1年を振り返って 印出井敏英会長 飯村悟幹事

---

会報担当：渡邊 肇 会員

画像担当：菅谷 隆臣 会員